

海洋おせんを防ぐには

ぼくは、尾瀬ネイチャーラーニングで、色々な植物や動物がいることを知りました。またそれらの環境を守る取り組みをしていることも知りました。環境問題について調べる中で、海洋おせんの問題について知り、興味を持ちました。

海洋おせんを防ぐことは、自然環境を守ることの一つです。ぼくは、海洋おせんのおもな原因であるポイ捨てをしないように呼びかけるべきだと思います。なぜなら捨てる風で飛んでいき、川や海にいつて魚たちがゴミを食べてしまうからです。

資料1は、2024年に日本の海岸に漂着したゴミを種類別に示しています。2024年はいんりょう用ボトルが38.5%も捨てられているんだなと思いました。実際、尾瀬ネイチャーラーニングで行ったときも、木道を歩いているときに、いくつかゴミが落ちていたのを見つけました。

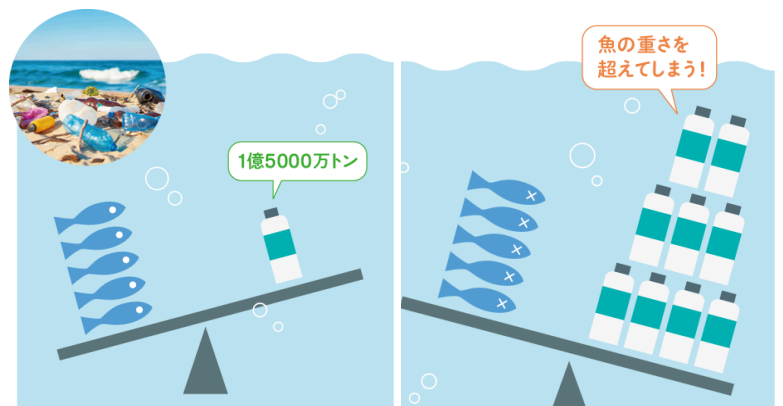
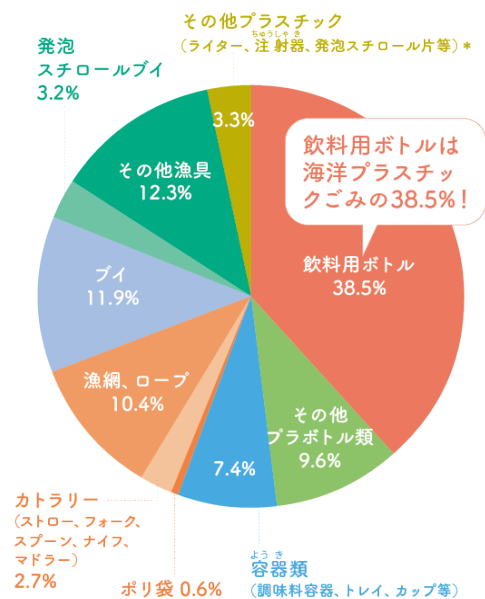
資料2を見てください。今は魚のほうがゴミより多いけど、いつかは、魚の重さをこえてしまうからゴミが捨てられないようにしなくてはならないと考えます。ぼくは、尾瀬ネイチャーラーニングを通して、一つのゴミが環境を破壊してしまうことがあることを学びました。

これからの未来は魚よりゴミの方が多くなるかもしれません。だからみんなで、ゴミを出さないようにする工夫や環境を守るための活動などの工夫をしてみればどうでしょうか。

ぼくもこれからは、ゴミが飛ばされないようにすぐにゴミ袋に入れるなどの取り組みをしようと思うようになりました。みんなで力を合わせて、ごみをなくして自然環境を守っていきましょう。

資料1「目で読むSDGs図鑑」より

グラフ2 海岸に漂着したプラスチックごみの種類別割合



資料2「目で読むSDGs図鑑」より